

「第10回全日本小学校ホームページ大賞」(J-KIDS大賞2012)

「J-KIDS大賞」、「文部科学大臣賞」、「総務大臣賞」、「経済産業大臣賞」決定

J-KIDS大賞実行委員会
(事務局:株式会社損害保険ジャパン)

J-KIDS大賞実行委員会(実行委員長:村井 純 慶應義塾大学環境情報学部長)は、「ホームページの活性化を通じて、学校と保護者・地域とのより良い関係の構築に寄与するとともに、未来を担う小学生が、主体的・積極的にホームページを使いこなす環境の醸成とリテラシーの育成に貢献する」ことを理念として、優れた小学校ホームページを表彰する「第10回全日本小学校ホームページ大賞」(J-KIDS大賞2012)を約40の公的機関・企業・団体・大学などの協力を得て開催してまいりました。

このたび、2月2日(土)に、選考対象校総数20,741校の中から「J-KIDS大賞」、「文部科学大臣賞」、「総務大臣賞」および「経済産業大臣賞」各1校を決定しましたので、以下のとおりお知らせします。

なお、2003年度から開催してまいりましたJ-KIDS大賞は、今年度(第10回)が最終回となります。これまでJ-KIDS大賞をご支援いただき、御礼申し上げます。

* J-KIDS大賞サイト <http://www.j-kids.org>

「J-KIDS大賞」、「文部科学大臣賞」、「総務大臣賞」、「経済産業大臣賞」 受賞校および受賞理由

<J-KIDS大賞>

『千葉県 印西市立内野小学校』 <http://inzai.ed.jp/uchino-e/>

「子ども版内野小公式サイト」における、子どもたちの自主性を重んじた運営体制と、子どもたちならではの視点でのびのびと活動する様子を圧倒的な情報量で表現している点を高く評価します。また、Facebook や Ustream などのソーシャルメディアを積極的かつ効果的に活用して、小学校を中心としたコミュニティを形成している点も優れています。さまざまな情報を発信しながらも、サイト全体の構成がわかりやすく、必要な情報にアクセスしやすいなど、総合的に極めて完成度が高いホームページです。

<文部科学大臣賞>

『静岡県 浜松市立大平台小学校』 <http://www.city.hanamatsu-szo.ed.jp/ohiradai-e/>

大平台小学校のホームページはトップページを含めて効果的に写真を使い、訪れた人たちを元気にしてくれる点を高く評価します。6年生による情報発信「こちらわかば情報局」では、さまざまな話題を子どもらしい視点で率直に社会に問いかける姿勢が見てとれ、清々しく、子どもたちのこれからの活躍が楽しみになる内容となっています。子どもたちがICTを使いこなし、確実に力をつけている様子が伝わってくるホームページです。

<総務大臣賞>

『鹿児島県 いちき串木野市立川上小学校』 <http://www12.synapse.ne.jp/kawasyopage/>

全校児童と教職員が一丸となって小学校の様子を伝えていて、ホームページづくりに携わる皆さんの熱意が伝わってくる点を高く評価します。また、地域の方々も地元の小学校を大切にし、学校と地域が互いに協力しあって子どもたちを育む姿勢がホームページを通して伝わってきます。一人ひとりがしっかりとICT力を身につけ、社会に情報発信できるという良い見本になっています。訪れた人誰もが引き込まれてしまう、魅力あるホームページです。

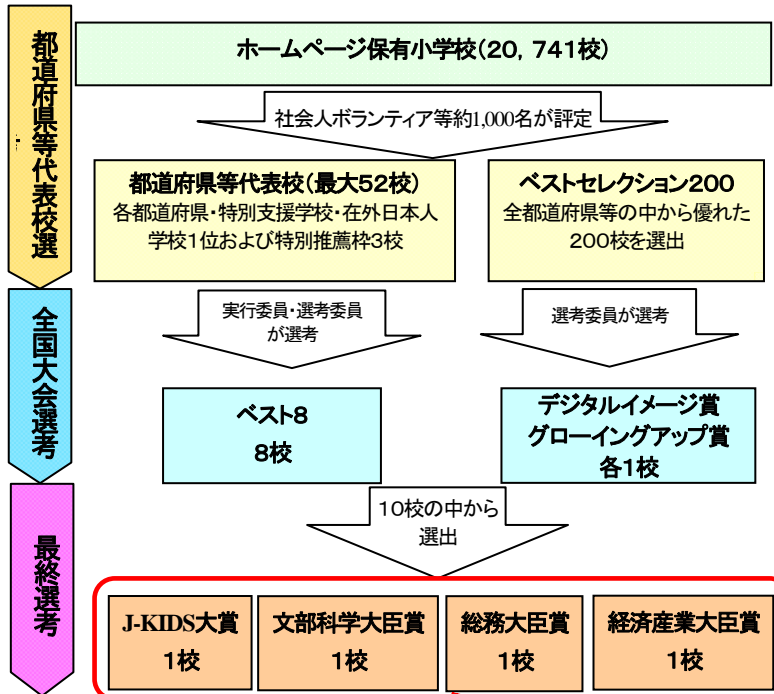
<経済産業大臣賞>

『新潟県 新潟市立亀田東小学校』 <http://www.kamedahigashi-e.city-niigata.ed.jp/>

学校全体で「良いホームページをつくりたい」という目標を持ち、スキルアップに励んでいる点を高く評価します。子どもたちが毎日更新するブログからは、学校生活の様子を紹介することに責任を持って取り組んでいる様子がうかがえます。また、教職員の皆さんも、学校広報の意義を認識したうえで、それぞれの立場・視点から情報を発信しており、学校一丸となって情報発信を続ける仕組みが確立されています。一人ひとりの活動が集結し、大きな力を持ったホームページです。

以 上

1. これまでの選考の流れ



※各大臣賞については、各省に相談のうえ選出します。

今回発表

- (1) 都道府県代表校選考**
- ①一次評定：6月28日～8月6日
選考対象校（20,741校）のホームページを社会人ボランティア等（約1,000名）が閲覧し、評定基準に従って実施しました。
 - ②二次評定および都道府県代表校の内定：8月7日～9月4日
事務局において社会人ボランティア等が行った選考の結果を精査し、都道府県等代表校、ベストセレクション200を内定しました。
 - ③都道府県等代表校（52校）の発表：9月25日
 - ④ベストセレクション200の発表：11月16日
- (2) 全国大会選考**
- ①全国大会選考スタート：10月1日
 - ②全国大会選考会
選考委員により全国大会表彰校10校を選出しました。
 - ③全国大会表彰校（10校）の発表：12月11日
- (3) 最終選考**
- ①実行委員会による最終選考の実施
 - ②表彰式の開催ならびに最終選考結果（J-KIDS大賞、文部科学大臣賞、総務大臣賞、経済産業大臣賞）の発表（本リリース）

2. 参照URL

- 「J-KIDS大賞公式サイト」
 - ・ トップページ
<http://www.j-kids.org/>
 - ・ 全国大会表彰校10校の一覧とホームページリンク
<http://www.j-kids.org/progress/best10.html>
 - ・ 「都道府県等代表校」52校の一覧とホームページリンク
<http://www.j-kids.org/progress/selected52.html>
 - ・ 「ベストセレクション200」のホームページリンク
<http://www.j-kids.org/progress/bestselection200.html>
- 過去のニュースリリース等発表資料
 - ・ 6月28日付けニュースリリース資料（J-KIDS大賞2012スタート）
http://www.sompo-japan.co.jp/news/20120628_1.html
 - ・ 9月25日付けニュースリリース資料（都道府県等代表校の決定）
http://www.sompo-japan.co.jp/news/20120925_1.html
 - ・ 11月16日付け発表資料（ベストセレクション200の決定）
http://www.sompo-japan.co.jp/topics/20121116_1.html
 - ・ 12月11日付けニュースリリース資料（全国大会選考結果ベスト8等の発表）
http://www.sompo-japan.co.jp/news/20121211_1.html

1. 主催

J-KIDS 大賞実行委員会

2. 実行委員会

(委員長) 村井 純 慶應義塾大学 環境情報学部長・教授
(委員) 大川 恵子 慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科教授
小林 和真 倉敷芸術科学大学 産業科学技術学部 経営情報学科教授
豊福 晋平 国際大学グローバル・コミュニケーション・センター准教授
中島 洋 経済ジャーナリスト

3. 選考委員

有吉 司 株式会社日立製作所 デザイン本部 本部長
加治佐 俊一 マイクロソフト ディベロップメント株式会社 代表取締役社長
木下 剛 シスコシステムズ合同会社 専務執行役員
久世 和資 日本アイ・ビー・エム株式会社 執行役員
徳岡 宏行 株式会社損害保険ジャパン 執行役員 IT企画部長
細川 雅由 NTTコミュニケーションズ株式会社 取締役 第三営業本部長
松阪 喜幸 キヤノンマーケティングジャパン株式会社 執行役員 コミュニケーション本部 本部長

4. 後援

文部科学省／総務省／経済産業省／NHK／
倉敷芸術科学大学／慶應義塾大学／WIDEプロジェクト

5. 協賛

株式会社インフォメーション・ディベロップメント／SCSK 株式会社 /
NTT コミュニケーションズ株式会社／株式会社 NTT データ／
キヤノンマーケティングジャパン株式会社／シスコシステムズ合同会社／
株式会社損害保険ジャパン／日本アイ・ビー・エム株式会社／
日本ヒューレット・パッカード株式会社／日本マイクロソフト株式会社／
パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社／
株式会社日立システムズ／株式会社日立製作所／丸紅情報システムズ株式会社

6. 協力

アドビ システムズ 株式会社／株式会社インターネット総合研究所／
NEC ソフト株式会社／キッズ goo(NTT レゾナント株式会社)／沖電気工業株式会社
特定非営利活動法人 学校インターネット教育推進協会／
国際大学グローバル・コミュニケーション・センター／株式会社スペースポート／
株式会社セールスフォース・ドットコム／西日本電信電話株式会社／
日本興亜損害保険株式会社／日本航空／日本電気株式会社／
東日本電信電話株式会社／富士通株式会社／
社会人ボランティアの皆様

7. 事務局

株式会社損害保険ジャパン

以上